

研究機関：広島大学

研究課題名	lgG4 関連疾患の臨床的特徴についての疫学研究
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 杉山 英二
研究期間	平成 28 年 10 月(倫理委員会承認後)～平成30年 12 月
対象者	2009 年 1 月より 2017 年 12 月の間、広島大学病院リウマチ膠原病科で lgG4 関連疾患と診断された成人患者。
意義・目的	lgG4 関連疾患は lgG4 陽性形質細胞の浸潤を特徴とし、全身諸臓器の腫大や結節・肥厚性病変などを認める原因不明の疾患です。罹患臓器には、中枢神経系(下垂体炎、肥厚性硬膜炎)、涙腺・唾液腺、眼窩、甲状腺、肺、膵臓、胆管、肝臓、消化管、腎臓、前立腺、後腹膜、リンパ節、大動脈、皮膚、乳腺などがあります。近年本邦で新たに確立された疾患概念で、現在のところ、罹患臓器の合併頻度、重症度や治療反応性などについて十分な情報の蓄積がありません。本研究を含め、できるだけ多くの情報の蓄積を行うことが今後の病態の解明、診断・治療に役立つ可能性があり、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状・所見、血液検査値(白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板数、血球目視、総蛋白、アルブミン、Cre、BUN、AST、ALT、 $\gamma$ GTP、ALP、AMY、p-AMY、LDH、IgG、IgM、IgA、IgG4、CRP、TSH、PSA、sIL2R、C3、C4、CH50、血沈、抗核抗体、抗 SSA 抗体、抗 SSB 抗体、RF、MPO-ANCA、PR3-ANCA)、画像検査(X線、CT、MRI、骨シンチ、PET-CT)、生検病理、治療法、転帰です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5539 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 教授 杉山 英二 (研究責任者) 広島大学病院リウマチ・膠原病科 職名 助教 吉田 雄介 (研究担当者)